

第 30 回 部門別会員連絡会「電力部門」の開催

鉄道国際規格センターは、会員の皆さまとともに、鉄道分野の国際標準化など国際規格に関わる活動を推進しています。

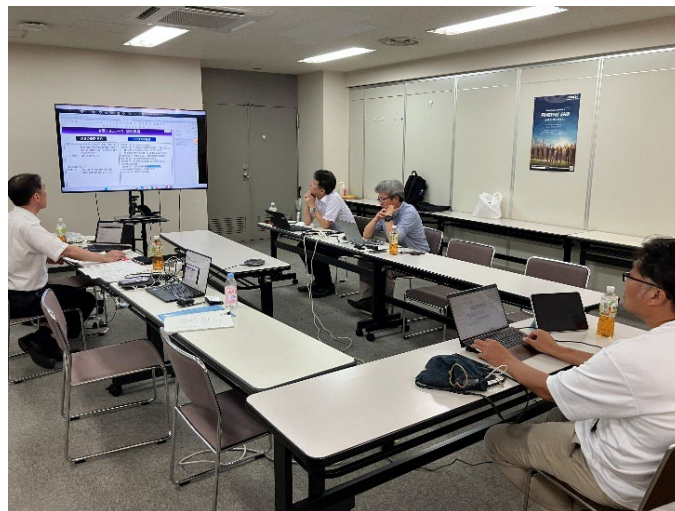
2026 年 6 月 29 日に、第 30 回部門別会員連絡会「電力部門」(高橋座長(日立製作所))を日立製作所 沖縄支店で開催しましたので、その活動を報告します。

第 30 回を迎えた連絡会では、電力分野の国際規格審議の状況やその課題について意見交換が行われました。下記にその議論の概要を整理します。

- 「き電シミュレータ」:国際規格化に向けた NP(新業務項目提案)投票や CD(委員会原案)作成の状況が報告されました。
- 「電力 SCADA」:設備制御範囲や自動制御に関する考え方、国ごとのシステム構成の違いに焦点が当てられ、日本固有の運用形態の国際規格への反映が重要な課題であることが共有されました。
- 「電氣的安全性と接地」や「トオリ線」:欧州主導で規格開発が進み、日本の技術的特徴や運用実態を適切に反映する必要性が強調されました。座長からは、日本の実績や知見を国際規格へ反映することの重要性や、積極的な規格へのコメント提出の必要性が指摘されました。
- 電力 RAMS:EN 規格の審議状況について情報交換が行われました。

また、今回の連絡会にあわせてテクニカルビジットを開催し、沖縄都市モノレール株式会社の電力 SCADA を視察させていただきました。

次回は 2026 年 12 月頃に開催する予定です。



第 30 回部門別会員連絡会「電力部門」における会議の様子

(問い合わせ先) 公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道国際規格センター
TEL:042-573-7234